



毎年6月3日～5日は、春の例大祭が行われ、神事に加え神輿が五箇地区巡る神輿渡が行われる。写真は5日の神輿が岡太神社・大瀧神社を出る様子。
 神と紙のまつり 5月3日・4日・5日
 秋の例大祭 10月11日・12日・13日

越前和紙について

全国にたくさんある和紙産地の中でも、特に長い歴史を誇り、奈良時代の正倉院文書の中にも登場する越前和紙。五箇地区は、その伝統の技をもとに、現代においても種類の豊富さと質の高さに定評がある高級手漉き和紙の産地として、日本一のシェアを誇っている。
 また横山大観や平山郁夫、ピカソといった日本画や木版画の作家に愛用されている。さらに、五箇はお札のふるさとでもある。坂本龍馬は福井藩士の三岡八郎（後の由利公正）が新政府の財政を担うことを望んでいた。龍馬の死後、三岡は新政府へ参加し、日本初の全国通用紙幣「大政官札」を発行。最高の品質を誇る越前和紙が使われた。その後、洋紙へ変更されたが、現在のお札にも越前和紙の職人が開発した技法「黒すかし」が使われている。また、岡太神社に記されている紙の神「川上御前」は印刷局抄紙部に分記されている。



職人が舟に入った和紙の原料をすくい紙を漉く様子。



周辺おすすめスポット



①しきぶ温泉 湯楽里

湯楽里は越前市唯一の天然温泉施設です。湯に浸ればツルスベ肌になることから「美人の湯」と言われています。展望浴場へは全長60mの斜形エレベーターで移動し36度～45度まで11種類の浴槽が楽しめます。またお食事処・宿泊施設も備えた充実の温泉施設です。

越前市白崎町68-8 ☎0778-25-7800
 営業時間 / 午前6時～午後11時(最終受付午後10時)
 休館日 / 毎月第2水曜日(祝日の場合は翌日休館)
 (休館日翌日は午前9時から営業)
 入館料 / 大人650円、高齢者(65歳以上)600円、
 子供(3歳～14歳)350円



②越前そばの里

栽培から製粉・つゆ作りまで全てを一貫して行っている全国でも珍しいそば工場の見学ができます。おろしそばや焼き鯖寿司など福井名物が味わえます。そば打ち体験も人気です。売店では福井の様々なお土産を取り揃えています。

越前市真柄町7-37 ☎0778-21-0272
 営業時間 / 午前9時30分～午後4時
 (お食事処:午前10時30分～午後3時(午後2時L.O.))、おろしそば単品は午後3時L.O.)
 休館日 / 年始(1/1～1/3)



③万葉の里味真野苑・万葉菊花園

万葉の里味真野苑は、万葉集ゆかりの和風庭園で、四季折々に咲く花とともに万葉の植物を鑑賞できます。万葉菊花園は「たけふ菊人形」に展示する伝統的な菊を栽培しています。

越前市余川町55-1 ☎0778-27-7800
 開園時間 / 午前9時～午後5時(入園は午後4時半まで)
 休園日 / 月曜日(祝日を除く)
 国民の祝日の翌日、12月29日から1月3日
 入園料 / 無料

越前市までのアクセス

車でのアクセス	舞鶴若狹自動車道 [約30分]	北陸自動車道 [約30分]	武生IC
若狹方面	舞鶴若狹自動車道 [約30分] <td>北陸自動車道 [約30分] <td rowspan="4">武生IC</td> </td>	北陸自動車道 [約30分] <td rowspan="4">武生IC</td>	武生IC
名古屋方面	名神高速道路 [約1時間] <td>北陸自動車道 [約1時間] </td>	北陸自動車道 [約1時間]	
大阪方面	名神高速道路 [約2時間] <td>北陸自動車道 [約1時間] </td>	北陸自動車道 [約1時間]	
金沢方面	北陸自動車道 [約1時間] <td>北陸自動車道 [約1時間] </td>	北陸自動車道 [約1時間]	
岐阜方面	冠山峠道路 [約2時間]		越前市

鉄道でのアクセス	東京駅	北陸新幹線 [約3時間10分]	越前たけふ駅
金沢駅	北陸新幹線 [約45分]	越前たけふ駅	
名古屋駅	特急(米原経由) [約1時間30分]		
大阪駅	特急(敦賀経由) [約1時間50分]		

北陸新幹線越前たけふ駅からは
 塚町口バス停より福鉄バス「和紙の里行」に乗車 [約15分]
 ハビラインふくい武生駅からは
 武生駅前バス停より福鉄バス「和紙の里行」に乗車 [約25分]

●観光に関するお問い合わせ

越前たけふ観光案内所
 〒915-0042 福井県越前市大屋町38-5-1 TEL 0778-42-5257 営業時間/8:00～18:00

越前市観光・匠の技案内所
 〒915-0071 福井県越前市府中1丁目2-3 TEL/FAX 0778-24-0655 営業時間/9:00～18:00

[発行] 福井県和紙工業協同組合 / 大瀧ガイドの会 / (一社) 越前市観光協会



公式サイト > 越前観智 越前市観光協会 Instagram

2024年2月23日 光る君へ 越前大河ドラマ館OPEN

2024年7月 3日 新紙幣発行開始

福井県越前市
 越前和紙の里
 お札のふるさと



紙祖神 岡太神社

大瀧神社

国の重要文化財「日本一複雑な屋根」をもつ

その昔、川上から現れた女神が村人に紙すきの技を教えたと言う。
 村人は、その女神を「川上御前」とよび、紙の祖として神社にお祀りした。

創建千三百年余

SINCE 719



紙祖神 岡太神社・大瀧神社について

岡太神社は雄略天皇の御代(457~79)に創建され、この五箇地区に紙漉の業を伝えた女神「川上御前」を紙祖の神として祀り、「延喜式神名帳」(926)にも記載されている古社である。大瀧神社の創建は推古天皇の御代(592~638)大伴連が勧請したのが始まりと伝えられている。養老3年(719)、平泉寺白山神社を開いた泰澄大師は、この地を訪れ、水波能賣神である「川上御前」を守護神として祀り、「国常立尊」・「伊弉諾尊」を主祭神として「十一面観世音菩薩」を本地とする神仏習合の社を創建、大滝見権現と称して別当山大瀧寺を建立した。

中世に入ると白山信仰の拠点の1つとして栄え、境内には七堂伽羅が建ち並び48坊の堂塔、社僧700余名を擁し隆盛を極めた。南北朝の動乱や織田信長の一方向討伐などの兵火で度々衰退の危機が訪れるが、その後領主となった丹羽長秀や結城秀康をはじめとする歴代領主の保護により再度復興され、社殿の造営、改修が行われた。

明治時代初頭に発令された神仏分離令により仏式が廃され、大瀧見権現は現在の社号である大瀧神社に改称、昭和3年には県社に列している。

大正12年(1923)には大蔵省印刷局抄紙部に「川上御前」の御分霊が奉祀されて岡太神社は名実共に全国紙業界

総鎮守となった。このような世の移り変わりにもかかわらず里人らの両社への信仰は篤く、神の御加護のもとに紙漉きの伝統を守り続け今日に至っている。

岡太神社・大瀧神社の社殿がある境内を下宮というのに対し、背後にある権現山は山自体が御神体として信仰されていた山で、山頂付近に大瀧神社や岡太神社本殿、八照神社(八照宮)が並び立つ上宮は「奥の院」と呼ばれている。現在の大瀧神社下宮社殿は天保14年(1843)に再建されたもので、拝殿は入母屋、向拝一唐破造、檜皮葺、本殿は大型一間社流造、檜皮葺、拝殿と本殿が一体化した複合社殿で、山の峰を集めたような、あるいは、幾重もの波が寄せあうような屋根、複雑さの中に流があり、重厚さの中に躍動があるなど、形容のしようがない独特の屋根形状である。建物全体に施されている獅子、龍、鳳凰、草花の彫刻も精緻かつ華麗な秀作とされ、昭和59年(1984)に国指定の重要文化財に指定され、更に平成4年(1992)に神門廻廊等が新たに造営された。

大瀧神社は現在でも神仏習合の名残を残す神社で、神事が行われる一方で式年大祭(本開帳)や御神忌(中間帳)では法華八講など仏式の行事が行われ、木造虚空蔵菩薩像や木造十一面観音坐像といった仏像も所蔵している。

日本の紙幣誕生の地、お札のふるさと越前和紙の里。

イベント情報などは
随時ホームページで更新しております。

越前和紙の里



紙の文化博物館
越前和紙発祥の伝説や歴史について学ぶことができます。また、重要文化財に指定された紙すき道具類も随時展示しています。

福井県越前市新在家町11-12
☎0778-42-0016
開館時間 / 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 / 毎週火曜(祝日の場合は開館)・年末年始



パピルス館
紙すきを実際に行える体験型施設です。自分だけのオリジナル和紙を作ることができ、「和紙えちぜん」では越前和紙商品のショッピングを楽しめます。

福井県越前市新在家町8-44
☎0778-42-1363
開館時間 / 午前9時~午後4時、「和紙えちぜん」は午後4時30分まで
休館日 / 毎週火曜(祝日の場合は開館)・年末年始

御朱印
初穂料 / 1枚500円
受付場所 / パピルス館

※耳付きの越前和紙にスタンプが押されたものをお返しします。
※社務所では受け付けておりません。



秋葉山展望台
和紙の里の街並みを一望でき、銀色に光る越前瓦の美しさを堪能することができます。

岡太神社・大瀧神社
本殿と拝殿が連結した社殿と複雑な屋根の形が特徴的な重要文化財である



三村氏庭園
国の名勝に指定され、石組みの築山が巡る庭園です。事前の申し込みで見学いただけます。 ※有料



紙祖神 川上御前
中印西のお地蔵さん、海のお不動さん



卯立の工芸館
江戸時代中期の紙すき家屋を移築復元し、伝統工芸士が昔ながらの道具を使って和紙をすく様子など、和紙が作られる一連の工程を見ることが出来ます。

福井県越前市新在家町9-21-2
☎0778-43-7800
開館時間 / 午前9時30分~午後5時(紙すき見学は午後4時まで、入館は午後4時30分まで)
休館日 / 毎週火曜(祝日の場合は開館)・年末年始

●紙の文化博物館・卯立の工芸館
共通入館料
大人 / 300円
高校生以下 / 無料
※15名以上は団体料金 200円 / 1人

下宮ライトアップ



1年を通して不定期で開催しております。

※定休日以外にも休業の場合がございますので、事前にご確認ください。

見学可能な工房とギャラリー・ショップ情報

営…営業時間 見…見学可能な時間帯 予…予約・予約方法 料…工房見学料金等

F 杉原商店「和紙屋」
ギャラリー・ショップ
営 毎月第4土曜の午前9時~午後12時・午後2時~午後5時
予 不要
料 詳しくはこちら www.washiya.com

越前市不老町17-2 ☎0778-42-0032
定休日 / 開館日以外

G 長田製紙所
手漉き工房見学・ギャラリー・ショップ
営 午前8時~午後5時
見 ①午前10時30分 ②午後2時30分
予 3日前までにメールにて、日時と人数をご連絡ください(osadawashi@gmail.com)
料 1人2,200円(4名以上~受付)

越前市大滝町29-39 ☎0778-42-0051
定休日 / GW、お盆、年末年始、不定休

H 柳瀬良三製紙所(RYOZO)
手漉き工房見学・ギャラリー・ショップ
営 午前8時~午後5時
見 ①午前10時~午前11時30分 ②午後1時~午後4時
予 前日までにホームページまたは、メール、お電話にてお申し込みください
料 1人500円

越前市大滝町10-1 ☎0778-42-1155
定休日 / 日曜日

I 山田兄弟製紙(久兵衛)
機械漉き工房見学(プチギフト付き)
見 午前10時~午後3時(午前12時~午後1時を除く)
予 3日前までにメールまたはInstagram、フェイスブック、お電話にてお申し込みください
料 1人1,000円(お土産付き)

越前市不老町15-4 ☎0778-43-0043
定休日 / 土・日・祝、毎月19日~23日、年末年始、GW

J やなせ和紙
手漉き工房見学
営 午前8時~午後5時
見 ①午前10時30分 ②午後2時30分
予 7日前までにメールまたは電話にて、日時、申込者情報、人数等をご連絡ください
料 1人2,000円(最大5人まで)
詳しくはこちら <https://washico.jp>

越前市大滝町24-21 ☎0778-43-0639
定休日 / 土・日・祝、年末年始、夏季休暇、その他休業日

K 五十嵐製紙
手漉き工房見学
見 午前9時~午後4時(午前12時~午後1時を除く)
予 3日前までにメールまたはお電話にてお申し込みください
wagamiya@angel.ocn.ne.jp
料 1人500円

越前市岩本町12-14 ☎0778-43-0267
定休日 / 日曜日、GW、お盆、年末年始、不定休

L 山田製紙所
手漉き工房見学
見 ①午前10時~午前11時30分 ②午後2時~午後3時
予 3日前までにメールまたはお電話にてお申し込みください
料 1人2,000円

越前市大滝町23-3 ☎0778-42-0720
定休日 / 土・日・祝、GW、お盆、年末年始、不定休